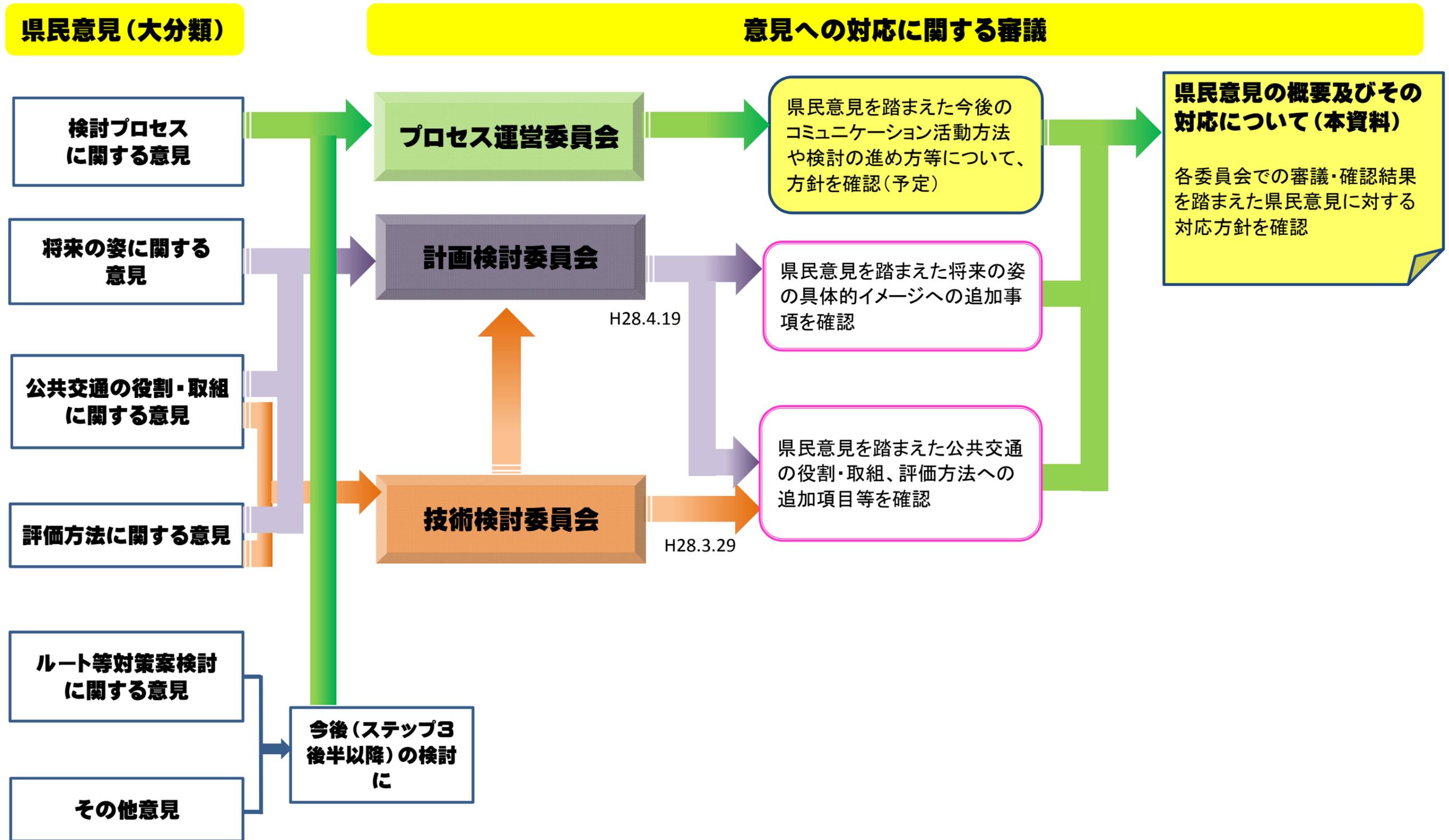


# 県民意見の概要とその対応について

## 1. 県民意見への対応フロー



## 2. 県民意見の概要とその対応について

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
(495)	コミュニケーション	情報提供 (290)	46	鉄軌道ニュースやパネルの内容・言葉が難しい、わかりにくいとする意見	<p>ニューズレターやパネルについては、初めて計画案づくりを知った方にも理解していただけるようトップページに計画案づくりの目的、現在の検討の進捗状況や今後の進め方を示した。また、強調したい箇所を同一色で示したり、各頁の冒頭に前後の頁との関連を示す説明文を記載するなどニューズレター全体のストーリー性に配慮したりわかりやすい情報提供に努めました。</p> <p>しかし、横文字など専門用語等言葉が難しい等のご指摘もあることから、今後も引き続き、専門用語を可能な限りわかりやすい言葉で表現する等更なる工夫を行い、わかりやすい情報提供に努めてまいります。</p>	
			36	横文字など、専門用語がよくわからない、難しいとする意見		
			21	言葉を簡素化したり、イラストを活用したり、字を大きくするなどしてニューズレターやパネルをわかりやすくしてほしい		
			24	子供からお年寄りまで誰もが理解しやすいよう、かみ砕いた表現等を活用するなどわかりやすく情報提供してほしい		
			6	模型や映像などでもっとイメージができるようにしてほしいとする意見		
				(関係機関等意見交換会意見)		
			1	県民への鉄軌道計画の伝え方を工夫してほしいとする意見		
			72	具体的なルート、駅位置、費用、モノレールとの関係等、今後の検討内容(ステップ3後半以降)について知りたいとする意見		
			8	ニューズレターやパネルにより理解が進んだとする意見		
			4	初めて取り組みを知ったとする意見		
			52	あらゆるメディアの活用や説明会を開催するなど、もっと周知を図ってほしい、周知に力を注いでほしいとする意見		<p>情報提供にあたっては、多くの県民に感心を持って頂けるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の広報テレビ番組や広報誌による周知</li> <li>・検討内容をとりまとめたニューズレターの全戸配布</li> <li>・市町村役場や商業施設、大学、病院等52箇所でのパネル展示の開催</li> <li>・ホームページへの情報掲載</li> </ul> <p>による情報提供を行うとともに、オープンハウス(県職員を配置したパネル展示)や県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会を開催するなど、対話を通じた幅広い情報提供に努めたところであります。</p> <p>また、マスコミにパネル展示や県民会議の日時や場所等について積極的に情報提供し、記事として取り上げて頂くなど周知に努めたところであり、今後も様々な媒体を活用した周知・情報提供に努めてまいります。</p>
			5	ニューズレターやパネル展等で県民に周知を図るこのような取組は良い、知ることができてよかったとする意見		
			5	定期的に情報提供してほしい、関心があるとする意見		
	1	離島への配布は無駄遣い				
	9	情報提供に関するその他意見				
		アンケート	(20)	5	多くの人の意見を反映できるようあらゆるツール(HP、ダイレクトメール、講演会等)を活用したり、海外観光客等含め対象者を拡大するなど工夫してほしいとする意見	<p>情報提供にあたっては、モノレール駅や道の駅など、県民のみならず観光客が訪れる場所においてもパネル展示を実施したところであり、引き続き幅広い情報提供に努めてまいります。</p> <p>ニューズレターについては、強調したい箇所を同一色で示す等わかりやすい情報提供に努めたところでありますが、ご意見を踏まえ、伝えたい・聞きたい内容をより明確にわかるように、今後も工夫してまいります。</p>
	11	アンケートの問いかけがわかりづらい、工夫が必要とする意見				
	4	アンケートに関するその他意見				
		その他	(1)	1	コミュニケーションに関するその他意見	
		検討の進め方	(184)	12	利権とは切り離すなど、公正に取り組むを進めてほしいとする意見	<p>県では、沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞の緩和、世界水準の観光リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化などを図る観点から、鉄軌道導入に向け、県の計画案づくりを進めているところです。</p> <p>計画案策定にあたっては、各段階において、県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を行っていくことが合意形成を図る上で重要と考えております。</p> <p>ステップ2までの検討では、現状において、公共交通の利便性や交通渋滞などが課題となっていること、そのために公共交通の利用促進に向けた取組が必要であることについて県民と一定の情報共有が図られ、また、将来の姿の実現に向けて何らかの対策を講じることは必要であり、計画検討を引き続き進めていくことについては理解が得られたと考えております。</p> <p>これらを踏まえ、ステップ3では、対策案として骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めており、引き続き県民と情報共有を図り、確認を行いながら検討を進めてまいります。</p>
9	計画実現には、県民の理解と協力が不可欠であり、県民一体となった取り組みが必要とする意見					
7	より良い計画づくりのため市町村、関係機関等と連携して検討を進めてほしいとする意見					
20	取組が遅い、検討のスピードをあげてほしいとする意見					
6	検討を始めるのが遅かったのではないかと、もっと早くから取り組むべきだったとする意見					
8	取組を強力に進めた方が良好とする意見					
4	事業ありき、導入ありきではないかとする意見					
2	福祉等他施策を優先すべきとする意見					

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応		
(495)	検討の進め方	(184)	27	外国を含め先進事例、既存事例等を参考にしながら検討を進めてほしいとする意見	<p>今後の計画検討にあたっては、ステップ2において社会面、経済面、環境面等様々な観点から設定した評価項目に基づき、各対策案のメリットやデメリット等について検討してまいります。</p> <p>計画案づくりは、交通政策、観光振興、経済振興等総合的観点から検討を行う計画検討委員会と、交通工学、施工性、環境等技術的観点から検討を行う技術検討委員会を設置し、様々な観点から検討を進めています。また、行政手続き、合意形成の専門家で構成するプロセス運営委員会を設置し、計画検討がステップ1で策定した「計画検討プロセスと体制のあり方」に基づき、適切に実施されているか、評価、助言を得ながら段階的に検討を進めてまいります。</p> <p>計画案づくりにあたっては、各ステップにおいて、県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を進めることが合意形成を図る上で重要と考えており、今後も、引き続きニューズレターの全戸配布やパネル展示を実施する他、オープンハウスや県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会の開催による対話を通じた県民との情報共有も図りながら検討を進めてまいります。</p> <p>県民の皆さまから頂いたご意見については、専門家で構成する技術及び計画検討委員会へ報告し、県民意見も参考にしながら検討を進めてまいります。なお、頂いた県民意見の概要と県民意見等を踏まえた検討結果等については、委員会資料等としてホームページに掲載・公表しております。</p>		
			22	鉄軌道の導入効果等メリットばかりでなく、導入に伴う影響等デメリットも含め幅広い視点で検討してほしいとする意見			
			33	有識者、専門家、多くの県民の声をしっかり聴いて進めてほしいとする意見			
			7	数十年先の長期を見据えた検討を行ってほしいとする意見			
			8	できる協力はやっていきたい、取組に協力したいとする意見			
			5	委員会の傍聴や県民会議への参加等、検討、取組に参加したいとする意見			
			1	(関係機関等意見交換会意見) 鉄軌道やフィーダー交通の整備計画において、各々利己的考え方を捨てて、沖縄の発展について真剣に考え、有意な話し合いを行うべきとする意見			
			3	PIで寄せられた県民意見の概要や反映結果等について知りたいとする意見			
			10	検討の進め方に関するその他意見			
(6,056)	県民生活	くらし、生活の向上 (1,171)	527	渋滞が無くなり、移動しやすく、便利で、快適、生活しやすいとする意見	<p>沖縄県では、平成22年3月に、“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造することを基本理念とする沖縄21世紀ビジョンを策定しました。</p> <p>平成24年5月には、基本理念を実現することを目標とした沖縄21世紀ビジョン基本計画を策定し、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島」、「心豊かで、安全・安心に暮らせる島」、「希望と活力にあふれる豊かな島」、「世界に開かれた交流と共生の島」、「多様な能力を発揮し、未来を拓く島」の5つの将来像の実現を図ることとしており、平成24年9月には、基本計画で掲げた各施策の具体的な取組を示した沖縄21世紀ビジョン実施計画を策定し、これに基づく様々な施策を展開しているところであります。</p> <p>一方、本県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、将来像の実現にあたっては、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進等が必要となっていることから、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域間連携の強化</li> <li>・移動利便性の向上</li> <li>・交通の円滑化</li> <li>・交通渋滞の緩和</li> <li>・まちづくり支援</li> </ul> <p>を図ることが、将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割として求められております。</p> <p>そのためには、既存の公共交通の利用環境改善や歩いて暮らせるまちづくりなどの取組を推進するとともに、骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が重要と考えております。本計画検討においては、求められる公共交通の役割を踏まえ、引き続き、県民と情報共有を図りながら骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めてまいります。</p>		
			230	交通が便利になり、通勤等移動が楽になっている、様々なところへ行きやすくなっているとする意見			
			124	県民誰もが精神面や金銭面で豊かで、安全な暮らしとなっているとする意見			
			68	移動時間短縮により行動範囲が広がり、居住範囲や生活圏が拡大しているとする意見			
			58	豊かな自然の中でのゆったりとした暮らしになっているとする意見			
			54	東京、本土並みの交通サービスが提供されている、便利な生活になっているとする意見			
			48	全ての人々が幸せに暮らせる、生活の向上が図られているとする意見			
			30	車の利用が減り、エコでシンプルな生活となっているとする意見			
			14	ライフスタイルの選択肢が広がり、個々にあったライフスタイルが楽しめているとする意見			
			7	生活様式、くらしが大きく変わるとする意見			
			11	その他			
			104	健康 (104)		104	車社会から脱却し、歩くことによる健康的な生活、歩いて暮らせる環境、歩く機会が増加した生活を送っているとする意見
			(390)	ライフスタイルの 変革		201	時間短縮、定時性の向上等により移動が楽になる、時間にゆとりができるとする意見
24	公共交通へ利用転換することにより、本を読んだり、時間の有効活用が可能となるとする意見						
104	鉄軌道を通勤等に利用したい、公共交通を利用したいとする意見						
50	時間を守るようになる、うちな一タイムが改善されるとする意見						
11	終電があることにより、夜型社会が是正され、規則正しい生活ができるようになるとする意見						

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
(6,056)	県民生活 (3,576)	移動範囲の拡大 (1,055)	419	高齢者等交通弱者、自動車を持っていない人でも気軽に外出できるようになる、行動範囲が広がっている、行きたいところに行けるようになっているとする意見	<p>沖縄県では、沖縄21世紀ビジョンで描く沖縄の将来の姿の実現に向け、高齢者や障害者をはじめ誰もが安全かつ安心して暮らせるよう、人に優しいまちづくりを推進しております。また、本格的な高齢社会への対応、学校や職業の選択肢拡大、外国人を含む観光客の増加等への対応の観点から、誰もが過度に車に頼らなくても移動できる公共交通ネットワークの構築が求められています。</p> <p>このため、本県では、公共交通の利用環境改善に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者を含むすべての利用者の乗降性に優れたノンステップバス</li> <li>・バスの複雑な系統を色でわかりやすく整理する系統別カラーリング</li> <li>・乗降時間の短縮と運賃精算の手間を軽減するIC乗車券の導入や、</li> <li>・バスの定時速達性の向上を図るバスレーン区間の延長などに取り組む他、</li> </ul> <p>人に優しい交通手段を確保するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄都市モノレールの沖縄自動車道(西原入口)までの延長整備</li> <li>・那覇一名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入及び鉄軌道とフィーダー交通(支線)が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組等を推進しております。</li> </ul>	
			323	北部と南部のアクセスが良くなることにより、今までなかなか行くことの出来なかった遠い場所に気軽に行けるようになっているとする意見		
			291	交通の便が良くなってショッピング等、県内のさまざまなところに移動しやすくなっている、行動範囲が広がっているとする意見		
			22	空港へのアクセスが向上し、気軽に県外や外国に行けるようになっているとする意見		
		通勤・通学 (342)	136	職場・学校との移動が楽になっている、無理なく通えるようになっているとする意見		
			127	通勤・通学範囲が広がることにより、実家や家族の元から学校や職場に通うことができ、行きたい学校等に通えるようになっているとする意見		
			78	職業や学校の選択肢が広がり、居住地を問わず学校等を選択できるようになっているとする意見		
			1	(関係機関等意見交換会意見) 鉄軌道導入により、学生の交通手段の幅が広がる、結果として渋滞緩和、親の送迎の負担が減り、子ども、教育、時間の余裕が出て、良い影響が出ると考える。		
		福祉・バリアフリー (19)	19	高齢者などにやさしい社会、福祉の充実・バリアフリー化を求める、期待する意見		
		車依存型社会からの脱却 (495)	401	車社会からの脱却、車を利用せずに移動ができる、自動車利用が減少しているとする意見		<p>沖縄県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、交通渋滞の緩和には、道路網の整備に加え、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進等が重要であります。</p> <p>そのためには、既存の公共交通の利用環境改善や人に歩きたくなるまちづくりなどの取組と併せて、骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が重要と考えております。</p> <p>本計画検討においては、沖縄の現状課題解決及び将来の姿の実現に向けて求められる公共交通の役割を踏まえ、引き続き、県民と情報共有を図りながら、那覇一名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めてまいります。</p>
			30	車社会であるため結局は自動車を利用するのではないかと、現実的には車依存型社会が続くとする意見		
			59	自家用車に係る経済的負担が軽くなる、自動車の保有台数を減らすことができるとする意見		
5	街中で駐車場を探す必要がなくなる、駐車場の問題が緩和されるとする意見					

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
将来の姿に関する意見 (6,056)	沖縄振興 (1,006)	経済等振興 (331)	329	外国を含め観光客が増加し、地域が活性化する、雇用の促進や産業の振興等県経済の活性化が図られるとする意見	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画を着実に実施していくための総合的な交通体系のビジョンを示した「沖縄県総合交通体系基本計画」においては、県土全体において高水準な都市機能を提供するため、様々な業種が集積し高度かつ多様なサービスを県民に提供することが可能な那覇市と各圏域の中心都市である名護、宮古、石垣との移動時間を1時間とする圏域構造の構築を図ることとしております。これら圏域間の連携を強化することにより、広域的な課題解決を図りながら、それぞれの地域資源の広域的活用によって地域の個性や特長を伸ばすことにより、県全体を牽引する力強い地域圏を形成し、県の総合的な発展を図ることとしております。</p> <p>沖縄21世紀ビジョンで示された将来の姿の実現等に当たっては、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、世界水準の観光リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化、低炭素社会の実現の観点から、公共交通への利用転換に向けた取組と併せて、那覇一名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が必要と考えております。</p> <p>本計画検討においては、沖縄の将来の姿の実現等に向けて公共交通に求められる役割を踏まえ、引き続き、県民と情報共有を図りながら骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めてまいります。</p> <p>また、那覇一名護を1時間で結ぶとする鉄軌道の整備は、地域発展の起爆剤として期待される一方で、ご指摘のストロー現象をもたらす可能性もあります。</p> <p>交通利便性を向上させることで人や企業を呼び込んでいくためには、魅力あるまちづくりを行っておくことが重要であり、今後の検討の中では、他事例等を参考に沿線市町村に求められるまちづくりについて整理し、市町村と連携して魅力あるまちづくりについて検討・情報共有を図ってまいります。</p> <p>沖縄県では、沖縄21世紀ビジョンで描く沖縄の将来の姿の実現に向け、高齢者や障害者をはじめ誰もが安全かつ安心して暮らせるよう、人に優しいまちづくりを推進しております。また、本格的な高齢化社会への対応、学校や職業の選択肢拡大、外国人を含む観光客の増加等への対応の観点から、誰もが過度に車に頼らなくても移動できる公共交通ネットワークの構築が求められています。</p> <p>このため、本県では、公共交通の利用環境改善に向け、  ・交通弱者を含むすべての利用者の乗降性に優れたノンステップバス  ・バスの複雑な系統を色でわかりやすく整理する系統別カラーリング  ・乗降時間の短縮と運賃精算の手間を軽減するIC乗車券の導入や、  ・バスの定時速達性の向上を図るバスレーン区間の延長などに取り組む他、  人に優しい交通手段を確保するため、  ・沖縄都市モノレールの沖縄自動車道(西原入口)までの延長整備  ・那覇一名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入及び鉄軌道とフィーダー交通(支線)が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組等を推進しております。</p> <p>これら取組により、移動手段の選択肢拡大が図られ、高齢者や学生、観光客等の多様なニーズに対応できるものと考えており、交流拡大、定住化促進等による地域経済の活性化が期待できるものと考えております。</p>
			2	その他	
		広域的圏域の形成 (183)	93	人口の分散が図れることにより、都市部の人口の過密解消、過疎地域を含めた地域の活性化が図られるとする意見	
			34	医療、教育、職業の選択等地域格差が是正されるとする意見	
			52	人口の分散化等による地域活性化、生活圏の拡大、県土の均衡ある発展を求める意見 (県民会議共通意見)	
			2	県内全域のまちなみ等の発展や他の産業への効果、人口減少の対策などを期待する意見	
			2	その他	
		地域の活性化 (175)	70	通勤圏等の拡大による北部の過疎化対策、交流人口増加による観光産業の発展等活性化が必要とする意見	
			44	地域産業の拡大等地域の活性化を求める意見	
			11	南部一帯の活性化、利便性向上が必要とする意見	
	9		東海岸の活性化が必要とする意見		
	7		中北部の活性化が必要とする意見		
	4		中部の活性化が必要とする意見		
	22		ストロー現象により都市部への一極集中が加速するのではないかとする意見		
	観光客の移動利便性の向上 (180)	177	観光客がストレス無く、楽に移動できるようになる、免許を持っていない観光客など誰もが観光を楽しむことができる、北部等へ観光がしやすくなるとする意見		
		3	その他		
交流拡大 (137)	100	中南部と北部間の交流が容易にできるようになる、北部等遠くに住んでいる親戚や友人等にも会いやすくなる、人的交流が増えるとする意見			
	16	外国の人、外国との交流がしやすくなるとする意見			
	16	人的交流が増えることにより、経済活動が活発化するとする意見			
	5	その他			
教育 (18)	18	誰もが学びたいときに学べる環境が整っている、教育の充実が図られているとする意見			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
(6.056)	将来の姿に関する意見	自動車利用の減少に伴う渋滞緩和・低炭素社会の実現	543	交通渋滞が緩和され、交通量が少なくスムーズに移動できているとする意見	<p>沖縄県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、交通渋滞の緩和には、道路網の整備に加え、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に過度に頼らないライフスタイルの促進等が重要であります。</p> <p>そのためには、既存の公共交通の利用環境改善や</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩きやすく安全・安心な歩道の整備</li> <li>・バス停から学校等への自転車走行空間整備やバス停周辺の駐輪場の整備</li> <li>・快適なバス待ち環境の提供</li> <li>・公共交通、駅を中心としたまちづくり 等</li> </ul> <p>人が歩いて暮らせるまちづくりと併せて骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が重要と考えております。</p> <p>駅を中心としたまちづくり等については、他事例等を整理し、県民の皆さまと情報共有を図るとともに、市町村の意見も聞きながら連携して検討を進めてまいります。また、骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについても、沖縄の将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割を踏まえ、引き続き、県民の皆さまと情報共有を図りながら、検討を進めてまいります。</p> <p>沖縄県では、平成22年3月に、概ね20年後のあるべき沖縄の姿として“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造することを基本理念とする沖縄21世紀ビジョンを策定しました。</p> <p>平成24年5月には、基本理念を実現することを目標とした沖縄21世紀ビジョン基本計画を策定し、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」、「心豊かで、安全・安心に暮らせる島」、「希望と活力にあふれる豊かな島」、「世界に開かれた交流と共生の島」、「多様な能力を発揮し、未来を拓く島」の5つの将来像の実現を図ることとしており、沖縄の豊かな自然環境の保全・適正利用等と併せて、自立型経済構築に向けた基盤整備や世界水準の観光リゾート地の形成等を図っていくこととしております。</p> <p>平成24年9月には、基本計画で掲げた各施策の具体的な取組を示した沖縄21世紀ビジョン実施計画を策定し、これに基づく様々な施策を展開しているところです。</p> <p>また、本県においては、自動車への依存度が高く、慢性的な渋滞が課題となっており、渋滞による経済的損失、公共交通の利便性の問題など様々な問題を抱えていることから、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進、コンパクトな都市構造の実現による「歩きたくなるまちづくり」、少子高齢化・人口減少社会への対応として、人に優しい交通手段の確保、利用環境整備等に取り組んでいるところであります。</p> <p>本年1月から2月にかけて実施したPI活動において、ニューズレターで示した「将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし」に対し、その他視点として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を運転せずにすむので飲酒運転や交通事故が減少する、気軽に飲みに行けるとする意見</li> <li>・米軍等基地が無くなり、基地騒音、米兵犯罪等の無い沖縄であってほしいとする意見</li> </ul> <p>・全体的に「沖縄の将来の姿」の内容は共感できることばかりであるが、少し足りない点として、高齢者や体が不自由な人、子ども、若者などの視点も入れた方がいいとする意見</p> <p>が寄せられたことを踏まえ、「沖縄の将来の姿の具体的なイメージ」に、「安全・安心な暮らし」や「高齢者や体が不自由な人、子ども、若者から見た暮らしのイメージ」を追加しました。</p>
			140	車が減り、排気ガス等が削減されている。排気ガス削減によりクリーンな沖縄となっているとする意見	
			11	渋滞緩和による経済的ロスが減少しているとする意見	
			4	その他	
			(698)		
	まちづくり	駅周辺のまちづくり	45	駅を拠点としたまちづくりにより、商店街等地域の活性化が図られているとする意見	
			19	駅を中心に街ができ、車を使わずに買いもの等ができる環境が創出されているとする意見	
			7	駅周辺に駐車場、駐輪場の整備がされているとする意見	
			4	駅周辺の地価が上がっているとする意見	
			5	その他	
	(80)				
	(123)	駐留軍用地跡地の活用	4	駐留軍用地跡地を活用してほしいとする意見	
			(4)		
		沖縄らしさ	39	沖縄らしさが失われるのではないかと、沖縄らしさを残してほしいとする意見	
			(39)		
	自然		85	豊かな自然が残された沖縄であってほしい、豊かな自然の中での生活を求める意見	
			(88)	3 その他	
	様々な視点		(1)	(県民会議共通意見) 1 「環境保全と開発」や「都市部と郊外部」、「観光・産業と私たちの暮らし」といったものの、バランスをどう考えていくのが重要だと思う。	
	交通事故減少		139	車を運転せずにすむので飲酒運転や交通事故が減少する、気軽に飲みに行けるとする意見	
			(142)	3 その他	
	基地・平和		21	米軍等基地が無くなり、基地騒音、米兵犯罪等の無い沖縄であってほしいとする意見	
			(47)	24 安全で平和な沖縄となっているとする意見	
				2 その他	
その他		(357)	58 非現実すぎてイメージできない、離島に住んでいるためイメージがわからないとする意見 37 何とも言えない、わからない、将来にならないとわからないとする意見 56 夢がある、実現できればすばらしい、実現してほしいとする意見 54 今と変わらない、自分が住んでいる地域には鉄道は通らないから今とは変わらないとする意見 12 次の世代のためにはよいとする意見 10 今のままで十分、便利になりすぎるのは困るとする意見 9 鉄道が通ることがイメージできる、あったら良いとする意見 4 共感できた、くらしのイメージができたとする意見 4 実現は難しいとする意見 21 外国人等による事故・犯罪の増加、貧富の差の拡大、ごみごみとしたイメージなど、今より悪くなるのではないかとする意見		
			(県民会議共通意見) 1 将来の姿のイラストについては、具体のイメージと沖縄本島の場所とをリンクさせたり、現在と未来との比較を示すとわかりやすくなるのではないかとする意見 1 全体的に「沖縄の将来の姿」の内容は共感できることばかりであるが、少し足りない点として、高齢者や体が不自由な人、子ども、若者などの視点も取り入れた方がいい。 8 将来の姿は理想ばかりなので、県民の負担等デメリットなども示してほしいとする意見 5 地域との接点等もっと具体的な将来の姿を示してほしいとする意見 3 将来とはいつを指すのか、目標としている時期がわからないとする意見 13 特に意見無しとする意見 61 その他		

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応		
公共交通の役割・取組に関する意見（役割） (3,693)	圏域間連携の強化	(450)	373	北部や南部への往来が活発になる等圏域間の連携が強化されるとする意見	<p>将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割として、北部と中南部の連携強化、アクセス向上、移動時間の短縮を求める意見が多く寄せられた一方で、那覇一名護を1時間で結ぶ必要性について疑問があるとする意見も寄せられております。</p> <p>県では、県土全体において高水準な都市機能を提供するため、様々な業種が集積し高度かつ多様なサービスを県民に提供することが可能な那覇市と各圏域の中心都市である名護、宮古、石垣との移動時間を1時間とする圏域構造の構築を図ることとしており、これら圏域間の連携を強化することにより、県全体を牽引する力強い地域圏が形成され、県の総合的な発展が図られるものと考えております。</p> <p>また、本格的な高齢化社会、外国人等を含む観光客の増加に対応するためには、誰もが車に過度に頼らなくても移動できる公共交通ネットワークの構築が求められておりますが、既存のバス交通では那覇空港から名護までは90分(高速バス)、160分(一般道路利用)となっていることから、今後、高齢者や観光客等の多様なニーズに対応するためには、定時性・速達性の高いサービスの提供を図り、移動手段の選択肢拡大を図っていく必要があると考えております。</p> <p>対策案については、県民から寄せられた意見も踏まえ、「圏域間の連携強化」、「移動利便性の向上」、「交通の円滑化」、「交通渋滞の緩和」等、将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割を踏まえ検討を進めてまいります。</p>		
			32	北部と中南部間を移動しやすいようアクセス向上を図るべきとする意見			
			12	那覇と名護を結ぶ基軸性のある公共交通を求める意見			
			16	那覇一名護を1時間で結んでほしいとする意見			
			5	那覇一名護を1時間より速く結んでほしいとする意見			
			5	那覇一名護を1時間で結ぶ必要性について疑問があるとする意見			
			5	公共交通の充実で多種多様な交流活動が図られるとする意見			
			1	(関係機関等意見交換会意見) 南北における移動の利便性を上げ、地域の活性化を求める意見			
	1	長距離での通勤通学の利便性の向上を求める意見					
	移動利便性の向上・交通の円滑化 (2,362)	高齢者等を含む県民や観光客の移動利便性の向上 (1,072)	県民の移動利便性 (533)	506		県民等の移動利便性の向上、スムーズな移動、交通及び移動の円滑化を求める意見	
				27		観光客の視点も必要であるが、まずは広く県民が利用できるような公共交通であるべきとする意見	
				357		交通弱者等の移動利便性 (358)	高齢者等交通弱者にやさしく、自動車を持っていない人なども自由に移動できるようにしてほしいとする意見
							(県民会議共通意見)
		観光客の移動利便性 (181)	観光客の移動利便性 (181)	174		観光客の増加に資するよう、観光客が長距離移動しやすい、観光客にやさしい公共交通を求める意見	
				1		周遊性を高め、外国人に公共交通を利用してもらうことが重要。	
				1		外国人の観光客が増えることも考慮してほしい。	
		公共交通のサービス向上 (666)	定時性 (447)	公共交通のサービス向上 (666)		444	定時性の確保、計画的、時間が読める公共交通
						3	定時性向上による経済効果を期待する意見
			快適性 (21)	快適性が確保された公共交通		21	快適性が確保された公共交通
151					スピーディーで速達性が確保された公共交通、時間の短縮を求める意見		
スピード (183)	スピーディーで速達性が確保された公共交通、時間の短縮を求める意見		32	速さにこだわらず、ゆっくり移動することを求める意見			
			7	多くの人の移動ができるよう大量輸送を求める意見			
輸送量 (7)	多くの人の移動ができるよう大量輸送を求める意見						
その他 (8)	公共交通機関の接続の工夫を含め定時性、速達性を確保し、低料金で安全に行きたいところに行けるなど、公共交通の利便性確保を期待する、求める意見。						
7	その他						

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
(3,693)	公共交通の役割・取組に関する意見（役割）	移動利便性の向上・交通の円滑化 (624)	公共交通ネットワークの構築 (428)	317 誰もが、車を利用しなくても行きたいところに行ける環境整備、すみずみまで行き届いた公共交通を求める意見	<p>将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが、車を利用しなくても行きたいところに行ける環境整備、すみずみまで行き届いた公共交通を求める意見</li> <li>・駅から目的地までのアクセスをスムーズに行えるよう、他公共交通等との連携等を求める意見</li> <li>・移動の選択肢を増やしてほしい、選べるようにしてほしい、公共交通の充実を求める意見</li> <li>・早期の渋滞緩和、解消を求める意見</li> <li>・車利用減少に伴う二酸化炭素排出量削減等による地球環境への配慮を求める意見</li> <li>・公共交通の利用で渋滞が緩和され交通事故が減少するとする意見</li> </ul> <p>が多く寄せられた一方で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車社会からの脱却は難しい、車が一番便利のため利用転換はしない、鉄軌道等を整備しても利用しないのではないかとする意見</li> </ul> <p>も寄せられました。</p> <p>沖縄県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、交通渋滞の緩和には、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進等が重要です。</p> <p>そのためには、公共交通の充実を図り魅力あるものにしていくことが重要です。本県では、公共交通の利用環境改善に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通弱者を含むすべての利用者の乗降性に優れたノンステップバス</li> <li>・バスの複雑な系統を色でわかりやすく整理する系統別カラーリング</li> <li>・乗降時間の短縮と運賃精算の手間を軽減するIC乗車券</li> </ul> <p>の導入や、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの定時速達性の向上を図るためバスレーン区間の延長</li> </ul> <p>などに取り組む他、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇一名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入と併せてフィーダー交通（支線）が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向け計画づくりを進めているところで</li> </ul> <p>す。</p> <p>これら取組により、移動手段の選択肢が拡大し、高齢者や学生、観光客等の多様なニーズに対応できることにより、公共交通への利用転換促進、交通渋滞の緩和、二酸化炭素の排出量削減、交通事故等の減少に資するものと考えております。</p> <p>対策案については、県民から寄せられた意見も踏まえ、「圏域間の連携強化」、「移動利便性の向上」、「交通の円滑化」、「交通渋滞の緩和」等、将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割を踏まえ検討を進めてまいります。</p>
			77 駅から目的地までのアクセスをスムーズに行えるよう、他公共交通等との連携等を求める意見		
			16 利用したいけど、駅近くの方や都市部に住む一部の方達だけ恩恵を受けることになるとする意見		
			7 観光地へのアクセスの向上を求める意見		
			6 離島住民にとっても利用しやすい公共交通を求める意見		
			(関係機関等意見交換会意見)		
			1 観光客が安心して観光地を回れるようフィーダー交通について重点的に考えるべきとする意見		
		4 その他			
		移動選択肢の拡大、公共交通の充実 (196)	188 移動の選択肢を増やしてほしい、選べるようにしてほしい、公共交通の充実を求める意見		
		8 その他			
		渋滞緩和 (701)	渋滞緩和 (534)	481 早期の渋滞緩和、解消を求める意見	
				36 車社会からの脱却は難しい、車が一番便利のため利用転換はしない、鉄軌道等を整備しても利用しないのではないかとする意見	
6 鉄軌道の整備だけでは特に都市部の交通渋滞は解消しないとする意見					
2 道路整備だけでは、渋滞解消できない。道路を整備しても自動車利用は増加するだけとする意見					
3 レンタカー利用から公共交通への利用転換を求める、転換により事故が減るとする意見					
6 その他					
二酸化炭素排出量の削減 (112)	112 車利用減少に伴う二酸化炭素排出量削減等による地球環境への配慮を求める意見				
交通事故の減少、飲酒運転の撲滅 (55)	交通事故の減少、飲酒運転の撲滅 (55)	41 公共交通の利用で渋滞が緩和され交通事故が減少する			
		14 公共交通の利用による飲酒運転の撲滅、防止			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
公共交通の役割・取組に関する意見（役割） (3,693)	持続性	(173)	113	持続可能性の観点から、赤字運営とならないよう採算性を考慮してほしいとする意見	<p>将来の姿の実現等に向け公共交通に求められる役割に対し、県民からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能性の観点から、赤字運営とならないよう採算性を考慮してほしい</li> <li>・持続可能な運営に資するため、できる限り建設費を抑えてほしい</li> </ul> <p>等の意見が多数寄せられました。</p> <p>近年、地域公共交通を取り巻く環境は大変厳しい状況にあり、地方圏では、人口減少・少子高齢化は特に深刻な状況となっており、また、自家用車利用が増え、公共交通機関を利用する割合は近年低下しております。</p> <p>そのため、地方圏における地域公共交通は、利用者が減少することにより、交通事業者の経営が圧迫され、赤字路線の廃止等、維持が困難な状況にあります。</p> <p>沖縄の将来の姿の実現等に向け、求められる公共交通の役割を果たしていくためには、公共交通の維持・確保が不可欠であり、公共交通の利用促進を含め持続可能性の観点から採算性を考慮することが必要です。</p> <p>このため、「持続可能性の観点から採算性(利用促進含む)を考慮した持続可能な公共交通」を、新たな視点として「公共交通の役割を果たすために必要な視点」として追加しました。</p> <p>対策案検討にあたっては、県民から寄せられた意見も踏まえ、「圏域間の連携強化」、「移動利便性の向上」、「交通の円滑化」、「交通渋滞の緩和」等、将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割の他、「持続可能な観点から採算性(利用促進含む)を考慮した持続可能な公共交通」の視点も踏まえつつ、検討を進めてまいります。</p>	
			19	持続可能な運営に資するため、できる限り建設費を抑えてほしい。		
			17	公共交通の維持・確保の観点から、県、市町村が協力して取り組むべきとする意見		
			11	整備に関する費用が大きいため、県民への新たな財政負担を懸念する意見		
				(関係機関等意見交換会意見)		
			1	建設費や運営費等の負担のかからない乗り物にしてほしい		
				(県民会議共通意見)		
			1	効率化のみを重視することなくサービス性を向上させ、採算性がなくても運行させることを求める意見		
			11	その他		
				(7)		6
		1	その他			
公共交通の役割・取組に関する意見（取組） (3,089)	既に取組がはじまっているもの	公共交通利用への転換に向けた取組 (209)	140	車社会からの脱却、車を利用しないでも生活できる社会となるような取組を求める意見	<p>沖縄県では、過度な自家用車利用から公共交通への転換が重要であると考えていることから、国道58号を中心とする那覇市から沖縄市までの区間に、定時・速達・多頻度で運行する基幹バスシステムの導入を目指しております。</p> <p>このため、ノンステップバスの導入、バス停のグレードアップ、バスレーンの区間延長、IC乗車券システム「OKICA」を本島路線バス4社へ導入するなど、バスの利用環境改善に向けた各種事業を実施しております。</p> <p>また、バスレーン区間延長により、久茂地から伊佐までのバスの所要時間が朝4分、夕方8分短縮するなどの効果が現れているほか、「OKICA」導入により、バスの乗降がスムーズになった、両替や小銭の準備が不要となった等の意見も多く寄せられております。</p> <p>さらに、過度な自家用車利用からの転換に向け、「わったーバス党」を立ち上げ、公共交通利用促進に関する意識啓発活動の実施や、小・中・高生に対して、自動車に過度に依存した生活習慣が根付かないようにするための啓発活動として、「安全・安心」、「CO2削減」、「健康増進」、「渋滞緩和」の観点から、公共交通の必要性について整理されたパンフレットの児童・生徒への配布や、小学校での出前事業の実施等に取り組んでおります。</p> <p>県としましては、今後も関係機関と連携し、公共交通利用促進、公共交通の利用環境改善に向けた取組を精力的に行ってまいります。</p> <p>なお、IC乗車券については</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者の負担するランニングコストが大きいこと</li> <li>・大幅な利用客数増は見込めない等、費用対効果が小さいこと</li> <li>・離島住民カードとの連携等、地域独自の展開が制限されること</li> </ul> <p>等から、運行事業者によりSuica等との全国相互利用ではなく、県内で独自利用することが判断されたところですが、今後、OKICAの利便性向上に向け、商業施設やコンビニ等でチャージができる環境整備を図っていくこととしております。</p>	
			30	マップの作成、案内板の作成など公共交通を利用しやすくする取組		
			27	早期の運転免許の返上、都市部への車の乗り入れ制限など自動車の利用を制限、減少させる取り組みを求める意見		
			9	カーシェアリングなど、車の適正な利用に向けた取組を求める意見		
				(関係機関等意見交換会意見)		
			1	モビリティーマネジメントをしっかりと考えてほしい。		
			2	その他		
		(1,649)	バスの利便性向上 (222)	134		バス停の整備、ノンステップバスの導入、便数の増等みんなが利用しやすいバス交通を求める意見
				35		Suica等との互換性やコンビニでのチャージ等OKICAの利便性を高めてほしいとする意見
				20		バスの運賃低減を求める意見
				11		鉄軌道よりバスの充実を図ってほしいとする意見
				5		バスレーンの増設・延長を求める意見
				5		バスレーンの廃止を求める意見
				12		その他

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
公共交通の役割・取組に関する意見（取組）  (3,089)	既に取組がはじまっているもの  (1,649)	料金  (507)	463	県民が利用しやすい安価でリーズナブルな運賃を求める意見	公共交通の利用促進に向けた取組について、県民の皆さまから様々な提案がありました。 これら意見については、市町村会議や関係機関等意見交換会を通じて、市町村や交通事業者と情報共有を図ってまいります。
			31	1日券、学生割、シルバー割やわかりやすい料金設定を求める意見	
			10	無料化を求める意見	
			3	その他	
		安全・安心  (303)	302	安全安心で事故の無い公共交通を求める意見	
			1	その他	
		マナー  (51)	16	県民の交通マナーの改善を求める意見	
			18	バス、タクシー等既存公共交通事業者のマナーの改善を求める意見	
			7	公共交通事業者の質の向上に向けた給与アップ、選抜試験の実施、スキルアップ等の取組を求める意見	
			10	その他	
		道路整備  (58)	24	公共交通の整備だけでなく自転車が走りやすい、歩行者が歩きやすい道路整備を求める意見	
			25	公共交通の整備だけでなく既存道路の拡幅・改良・充実、新たな道路整備などを求める意見	
			9	その他	
		まちづくり  (299)	155	駅周辺に駐車場、駐輪場などを整備し、誰もが利用しやすいようにしてほしいとする意見	
	54		魅力的な駅づくりや駅と一体となった再開発（駅周辺への商業施設、ショッピングセンター等の設置等）を求める意見		
	53		駅を中心としたまちづくりや住みよいまちづくりを求める意見		
	9		バリアフリーに対応したまちづくりを求める意見		
	7		駐留軍用地跡地を活用した駅整備等、まちづくりを求める意見		
	5		都市機能が集積されたコンパクトなまちづくりを求める意見		
			(関係機関等意見交換会意見)		
	1		P&Rを充実させ、駅から遠い人の利便性を高める。		
	1		各駅へのレンタカーステーションの設置もフィーダーの一つとして検討してほしい。		
	1		駅周辺の活性化を図るため駅を最大限活用する。		
	1	既存の建物を活かした駅作りを考えて、付加価値を与えてほしい。			
	1	どんな人でも使いやすい駅の作り方を検討してほしい。			
	11	その他			
	今後、具体的な検討がもとめられるもの  (1,440)	骨格軸及びフィーダー交通ネットワークの構築  (1,217)	777	鉄軌道をできるだけ早く整備してほしい、実現を期待するとする意見	沖縄県では、沖縄21世紀ビジョンで描く沖縄の将来の姿の実現に向け、高齢者や障害者をはじめ誰もが安全かつ安心して暮らせるよう、歩いて暮らせるまちづくりを推進しております。また、本格的な高齢社会への対応、学校や職業の選択肢拡大、増加する外国人を含む観光客など誰もが車に頼らなくても移動できる公共交通ネットワークの構築が求められています。 このため、本県では、公共交通の利用環境改善に向け、 ・交通弱者を含むすべての利用者の乗降性に優れたノンステップバス ・バスの複雑な系統を色でわかりやすく整理する系統別カラーリング ・乗降時間の短縮と運賃精算の手間を軽減するIC乗車券の導入や、 ・バスの定時速達性の向上を図るバスレーン区間の延長などに取り組む他、 人に優しい交通手段を確保するため、 ・沖縄都市モノレールの沖縄自動車道（西原入口）までの延長整備 ・那覇一名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入及び鉄軌道とフィーダー交通（支線）が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組等を推進しております。  県としましては、引き続き、公共交通の利用環境改善に向け取り組むとともに、沖縄の現状課題解決及び将来の姿の実現に向け求められる公共交通の役割を踏まえ、県民と情報共有を図りながら、那覇一名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて、検討を進めてまいります。
30			人口が減少するのに鉄軌道は必要か、必要性を感じない、事業規模等の観点から税金の無駄遣いとする意見		
22			道路整備を充実することで足りる、道路の整備を優先すべきとする意見		
28			沖縄だけ鉄軌道が無い、導入が遅いのはおかしいとする意見		
27			鉄軌道は実現可能性がないのではないか、実現できるのかとする意見		
328			骨格軸とバス、モノレール等が連携し、乗り継ぎが便利でスムーズな移動ができる公共交通を求める意見		
5			都心部だけでなく郊外部の発展等に資するネットワークの構築を求める意見		
短期・中長期の取組  (10)		10	鉄軌道等の導入までは時間を要するので、まずは既存の公共交通を活用した取組が必要とする意見		
沖縄らしさ  (30)		27	沖縄らしい、沖縄の良さをアピールできるような公共交通、取組を求める意見		
		3	その他		
その他  (183)		42	特に無し、今はまだ考えられないとする意見		
		42	分からない、今はまだ分からないとする意見		
	99	その他			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応		
(1,391)	計画検討内容 (1,037)	ルート (503)	187	国頭、本部、糸満、与那原など特定の地域までのルート延伸を求める意見、	骨格軸及びフィーダー交通については、将来の姿の実現等から求められる公共交通の役割を踏まえ、検討にあたっての視点を整理し、これら視点に基づきルート等について検討を行いました。  骨格軸のルート等検討にあたっての視点としては、 ①公共交通軸の構築(那覇と名護間を速達性(1時間)、定時性等を備えた骨格軸として設定) ②多くの人が利用できる地域を經由 ③自動車交通が集中している地域を經由 ④まちづくり支援 の視点に加え、持続可能性の観点から採算性を考慮し検討を行いました。 また、フィーダー交通については、 ①骨格軸と地域を効率的に結ぶ ②既存の公共交通ネットワーク及び利用状況、まちづくりを考慮の視点から検討を行いました。  これら検討内容については、5月中旬頃に県民の皆さまに情報提供を行い、広く意見を求めていくこととしております。  導入空間については、ステップ3で設定された複数のルート毎に、ステップ4において、道路利用も含め、地下や高架等について幅広く検討を行ってまいります。  また、ステップ4では、ステップ2及びステップ3で設定した評価項目・評価方法に基づいて、社会面、経済面、環境面等様々な観点からルート毎のメリット、デメリットについて幅広く検討を行ってまいります。これら検討内容については、県民の皆さまへ情報提供し、幅広く意見を求めてまいります。		
			121	特定の地域(読谷村、恩納村、八重瀬・等)、特定施設(大学等)を通過するルートを求める意見			
			64	本島又は各圏域の環状ルート、全市町村を經由するルート等を求める意見			
			38	複数ルートの整備を求める意見			
			35	最北端、最南端までのルート延伸を求める意見			
			18	採算性を考慮し需要の多い箇所への導入を求める意見			
			3	MICEを考慮したルートを求める意見			
			1	具体的なルートを設定した検討を求める意見			
				(市町村会議意見)			
			1	現状の交通量、渋滞状況、観光周遊を考慮して、ルートを検討してほしいとする意見			
			(関係機関等意見交換会意見)				
		1	これまで伸び悩んでいた地域の観光施設の来場者数も含めて観光客の流動を検討すべきとする意見				
		34	その他				
			フィーダー交通ネットワーク (1)			(関係機関等意見交換会意見)	
				1		フィーダー交通については、望ましい姿を抽象的な形にして、かっちり決めないでほしいとする意見	
			導入空間 (110)			38 高速道路や国道58号等、既設道路を活用した整備を求める意見	
				14		用地確保の観点から軍用地の活用、軍用地内への整備を求める意見	
				11		地下が良い、土地の制約等により地下への導入が良いとする意見	
				6		安全面等からモノレールのような高架方式による整備を求める意見	
				5		交通弱者、景観配慮等の観点から地平が良いとする意見	
				4		不発弾や景観等を考慮し、トンネル(地下・山岳)構造はやめた方が良いとする意見	
				3		踏切のある構造はやめてほしいとする意見	
				19		用地確保に不安があるとする意見	
				10		その他	
			システム (327)	鉄道 (43)		37 鉄道、地下鉄にしてほしいとする意見	骨格軸及びフィーダー交通に求められるシステムについては、将来の姿の実現等の観点から求められる公共交通の役割を踏まえ、下記視点を整理の上検討を行いました。  骨格軸に求められるシステム ①速達性(那覇と名護を1時間で結ぶ)が高いシステム ②大量輸送(需要に適したシステム) フィーダー交通に求められるシステム ①需要に適したシステム(採算性を考慮)  これらから、骨格軸としては、専用軌道を有するシステム(小型鉄道やモノレール等の新交通システム、専用軌道のLRT)が想定されました。 また、フィーダー交通については、地域のニーズを踏まえ、 ・速達性、定時性、乗降のしやすさ、他の公共交通との連携など等求められるサービスレベル ・まちづくりとの関係 ・導入空間及び走行に関する課題 ・採算性 等の視点から総合的に考えていくことが重要と考えていますが、想定されるシステムとしては、既存のバスネットワークが、人口分布、主要施設等を踏まえ形成され、地域と地域を結んでいることから、主はバスになるものと考えております。 また、需要が多くバスでの輸送が効率的ではない地域については、輸送力の高いシステムに移行することが望まれると考えており、比較的安価で導入可能なものとして、BRTやLRTといったシステムが想定されます。  これら検討内容については、5月中旬頃に県民の皆さまに情報提供を行い、広く意見を求めていくこととしております。
				6		速達性等の観点から鉄道が良いとする意見	
			LRT/路面電車 (86)	33		地域内移動として路面電車を導入してほしい	
				28		安価で導入しやすい、乗り降りしやすいLRTの導入を求める意見	
				9		LRTを導入してほしい	
				9		那覇から名護までゆったり走る沖縄らしい路面電車が必要だ	
				5		海外や本土で路面電車に乗って便利だったので路面電車を導入してほしい	
						(関係機関等意見交換会意見)	
		1	国土交通省も少子高齢化等の対策としてLRTを推進する考えを示している。LRTの推進も考えてほしい				
		1	LRTの導入計画について、市町村の協力を促すべき。				
	モノレール (132)	40	モノレールを使って様々な地域に行けるようにしてほしい				
		37	モノレールにしてほしい、モノレールの延伸、充実を求める意見				
		32	名護までモノレールを伸ばしてほしい				
		15	スピード、乗り心地等の観点からモノレールはだめとする意見				
		6	便利で低騒音、定時性のあるモノレールが良いとする意見				
		2	モノレールに関するその他の意見				
	トラムトレイン (4)	3	安価で導入可能なトラムトレインが良いとする意見				
		1	トラムトレイン(都市内は併用、郊外は占用の路面電車)にしてほしい				
	リニア・新幹線等 (13)	10	リニア・新幹線等、超高速鉄道等を求める意見				
		3	より短時間で那覇一名護間を移動できるようにするため、リニア・新幹線等、超高速鉄道等を求める意見				
	その他 (49)	49	その他				

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
ルート等対策案検討に関する意見 (1,391)	計画検討内容 (1,037)	駅位置 (94)	45	病院等特定の施設への駅設置を求める意見	本計画検討は、構想段階の概略計画に該当することから、具体的な駅位置の設定ではなく、駅位置の考え方について検討を行っていくこととしております。 駅位置の考え方については、他事例も参考にしながら需要確保や他交通との結節、まちづくり等の観点から検討してまいります。 これら検討内容については、市町村会議を通じて、市町村の皆さまと情報共有を図るとともに、県民の皆さまにも情報提供し、幅広く意見を求めていくこととしております。
			25	駅間距離が長くないよう、または駅間距離が短くなりすぎないような駅設置を求める意見	
			13	拠点駅、人の多いところに駅が必要とする意見	
			11	その他	
		その他 (2)	2	その他	
	計画策定後の詳細検討 (354)	着工・完成時期 (12)	12	鉄軌道導入の着工時期、完成時期等が見えないので明らかにすることを求める意見	本計画検討は、構想段階の概略計画に該当し、計画案策定後は、事業化に向けた国との調整、整備主体や事業主体の決定、詳細検討を経て、環境アセスや鉄道事業法等に基づく諸手続きを行っていくこととしております。  具体的なルートや駅位置、システムの選定、運行計画等については、計画案策定後の詳細検討(具体的計画検討等)の中で検討していくこととしております。
段階的整備 (19)		8	中南部地区から整備してほしいとする意見		
		4	北部地区から整備してほしいとする意見		
		1	基幹軸よりもフィーダー交通を先行して整備すべきとする意見		
		6	その他		
財源確保・整備費 (40)		19	鉄軌道整備の予算が確保できるのか懸念、心配する意見		
		11	事業費は国に負担してもらいたいとする意見		
		5	事業費を国に頼らないようにすべきとする意見		
		5	その他		
整備主体 (4)		2	他県は国の予算で国鉄等鉄道インフラが整備されているため、国が整備すべきとする意見		
		2	その他		
輸送力 (6)		6	多くの人を運べる、混雑の無い編成等車両編成に関する意見		
車両 (52)		22	豪華列車、イベント・観光列車、個性的な列車等を求める意見		
		14	ペットや自転車も乗せられる車両にしてほしいとする意見		
		6	女性専用やバリアフリー等女性や交通弱者にやさしい車両にしてほしいとする意見		
		1	(関係機関等意見交換会意見) 立ちっぱなしではなく、沖縄の景観を楽しみながら乗れるとか、小さな赤ちゃんや大きな荷物を持っている人が快適に乗ることができるよう、ソフト面での利便性も重要である。		
		1	観光客は大きなトランクを持っているため、県内容と幅の取り方が違うことも考慮してほしい		
		8	その他		
塩害対策について (4)		4	沖縄は潮風の影響を受けるため、錆による塩害を考慮した車両、システムの整備を求める意見		
運行計画について (91)		22	各駅、快速、特急など様々な運行(スピード)を求める意見		
	20	運行本数を増やし、深夜の運行など利用しやすいようにしてほしいとする意見			
	49	運行時間の拡大、H24時間運行、本数の増加等に関する意見			
その他 (126)	36	SuicaやOKIKAが使えるなど鉄軌道へのICカード導入に関する意見			
	44	人だけでなく、物流機能の向上を図ってほしいとする意見			
	4	海中トンネルなど世界に誇れるユニークな鉄道を求める意見			
	42	その他			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
評価方法に関する意見 (371)	事業による効果・影響 (32)	県土の均衡ある発展 (9)	8	(県民会議共通意見) 鉄軌道建設によりかえって人口流出につながることはないか、県土の均衡ある発展につながるのかといった視点	<p>評価の視点については、委員会で検討した</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業による効果・影響</li> <li>・費用対効果</li> <li>・採算性分析</li> <li>・事業性</li> <li>・環境</li> </ul> <p>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口流出の可能性等を踏まえた県土の均衡ある発展の視点</li> <li>・県民や観光客利用の視点</li> <li>・自動車交通減少の視点</li> <li>・交通事業者への影響</li> <li>・塩害対策を含めランニングコストを踏まえた費用対効果分析</li> <li>・採算性分析</li> <li>・自然環境・景観への配慮</li> <li>・災害等への対応</li> <li>・自動車交通への影響を懸念する意見</li> </ul> <p>などの意見が寄せられました。</p> <p>これらご意見は、これまでの委員会で検討した評価指標に盛り込まれていると考えており、ステップ4ではステップ3で検討した評価指標及び評価方法に基づき、比較評価を行ってまいります。</p> <p>また、その他の視点として県民会議より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰ってきたいと思えるなど、地元意識が醸成されたかどうか、意識の変化も重要な視点とする意見</li> </ul> <p>が寄せられました。当該意見を踏まえ、今後、手法を検討の上、鉄軌道の導入による県民等の意識や行動の変化について把握し、鉄軌道導入による効果として検討していくこととしております。</p> <p>なお、これら検討内容については、今後、県民の皆さまへ情報提供し、幅広く意見を求めてまいります。</p>	
			1	県土の均衡ある発展とは南北軸1つとして考えるのか？南北軸と東西軸の2つ、で考えるべきはないのか		
		(10)	移動時間 (1)	1		時間の短縮等移動時間の視点が必要
		県民及び観光客の移動利便性の向上 (14)		7		県民利用の視点に関する意見
				3		観光客の利用の視点が必要
				3		フィーダー交通の視点が必要
		渋滞緩和・低炭素社会実現の視点 (6)		1		(市町村会議意見) 跡地等の大規模な開発計画だけではなく、それ以外の開発計画も考慮の上、利用者数等を推計してほしい
				3		自動車減少の視点
				1		渋滞緩和の視点
				1		二酸化炭素削減の視点
	世界水準の観光リゾート地の形成 (1)		1	その他		
			1	沖縄独自のリゾート地の形成の視点		
	まちづくり (1)		1	観光まちづくりの視点が必要		
			51	既存交通事業者への影響を踏まえた検討、既存交通事業者との役割分担、連携を求める意見		
	費用対効果 (70)		13	鉄軌道整備に伴う費用対効果を十分に検証すべきとする意見		
			1	(関係機関等意見交換会意見) 渋滞緩和等の効果を定量的に示してほしい。		
			1	那覇空港をつないだ場合、モノレールに影響が生じる。		
			4	その他		
	採算性分析 (1)		1	(関係機関等意見交換会意見) モノレールは塩害での故障が多い。ランニングコストを指標に入れてほしい。		
			2	用地確保の視点が必要		
	事業性 (35)	用地確保 (3)	1	その他		
			6	整備期間中のさらなる交通渋滞が心配であり、対策が必要とする意見		
			25	台風、地震等自然災害やテロへの対応を考慮し、安全性の高い計画を求める意見		
	環境 (217)	環境 (175)	1	その他		
			93	豊かな自然を壊さない、残すような取組を行ってほしいとする意見		
			72	自然に配慮した、自然と調和した整備を行ってほしいとする意見		
		5	騒音影響を懸念する意見			
5		その他				
景観 (42)		22	導入により自然の景観を損なわないよう配慮を求める意見			
		17	車窓から沖縄の自然等景色を楽しめるようにしてほしいとする意見			
		3	その他			
その他の視点 (2)		2	(関係機関等意見交換会意見) 数字では表しにくいですが、帰ってきたいと思えるなど、地元意識が醸成されたかどうかといった心の満足度も重要な評価の視点。			
		1	県民と観光客の利便性は別々に評価してほうがいい			
その他 (14)		1	(関係機関等意見交換会意見) 沖縄県内のみを比べるのではなく、他県や海外からの視点が必要。			
		1	評価指標の重み付けが必要になっていくと思う。			
		1	その他			
		11	その他			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
その他意見 (518)	鉄軌道以外に関する行政へ要望	(77)	11	離島の移動コストの低減化、離島の公共交通の充実に関する意見	
			7	離島振興に関する意見	
			2	天下りに関する意見	
			57	その他	
	賛否のみの意見	(130)	130	賛否のみの意見(理由無しの場合のみにみ)	
その他	(311)	311	その他		

意見総数

検討プロセスに関する意見	495件
将来の姿の具体的イメージに関する意見	6,056件
公共交通の求められる役割・取組に関する意見	6,782件
ルート等対策案検討に関する意見	1,391件
評価の視点に関する意見	371件
その他意見	518件
総数	15,613件